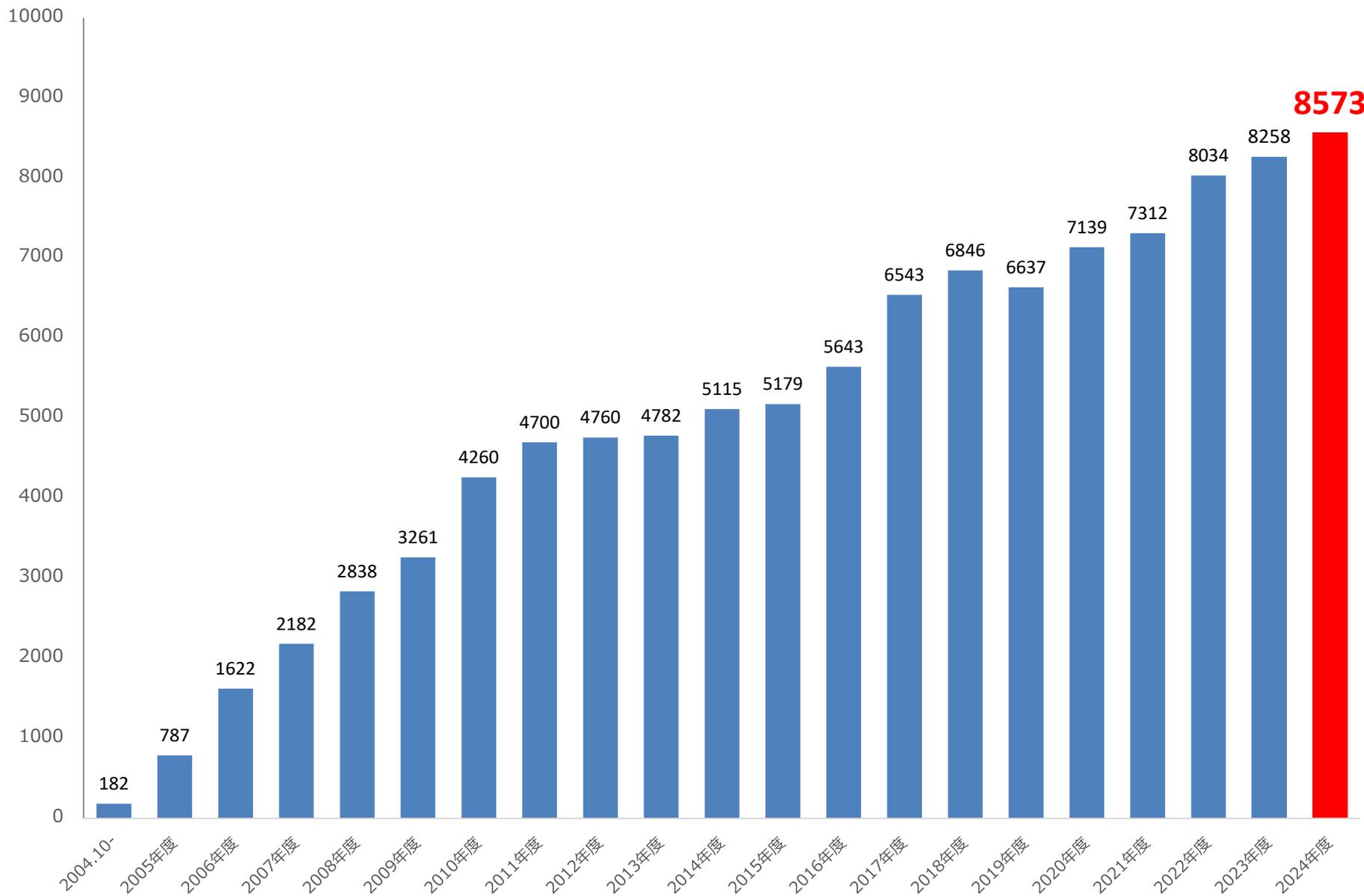


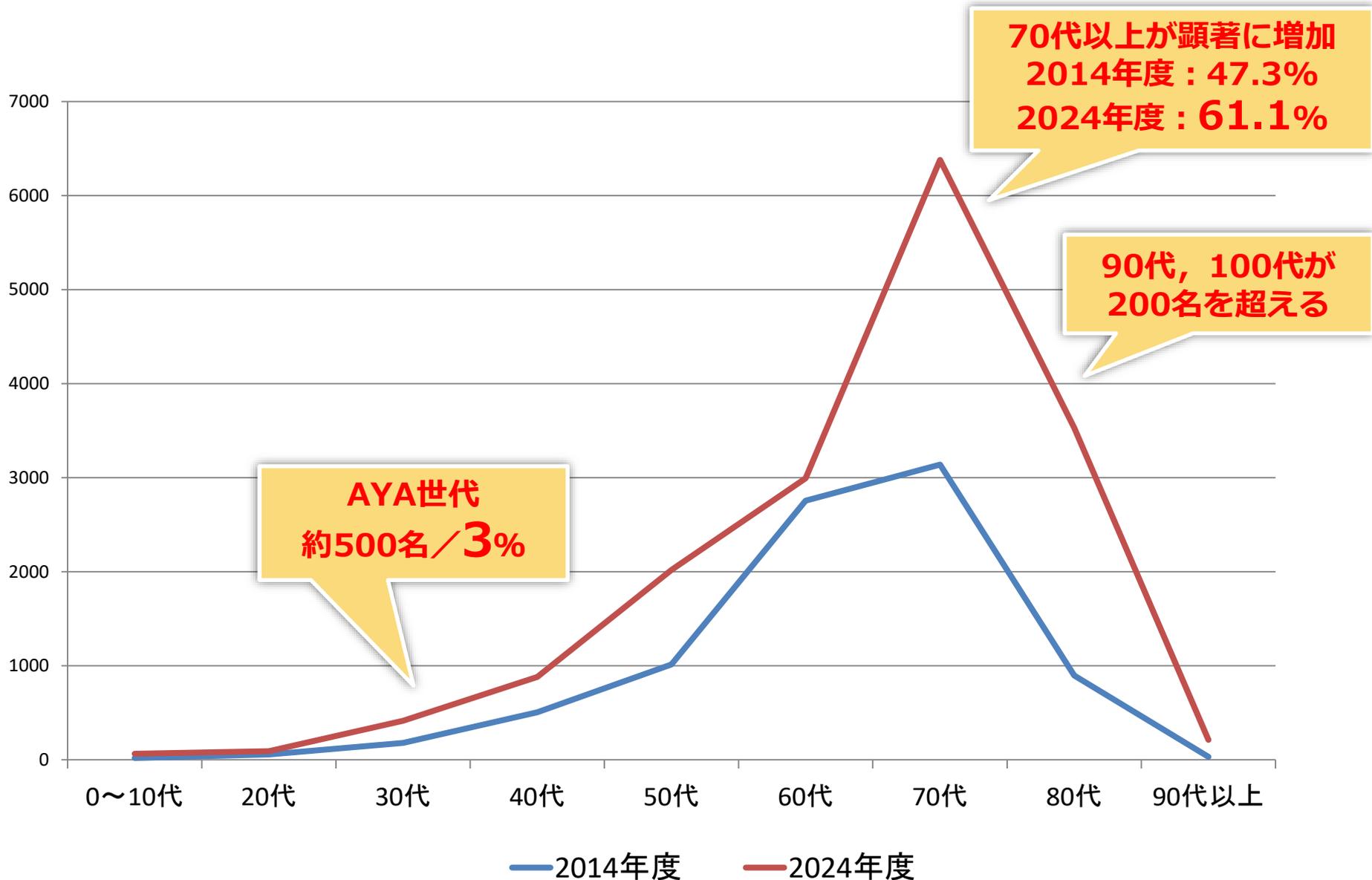
# 国立がん研究センター東病院における相談支援

国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院  
サポーターズケアセンター／がん相談支援センター  
坂本 はと恵 (hasakamo@east.ncc.go.jp)

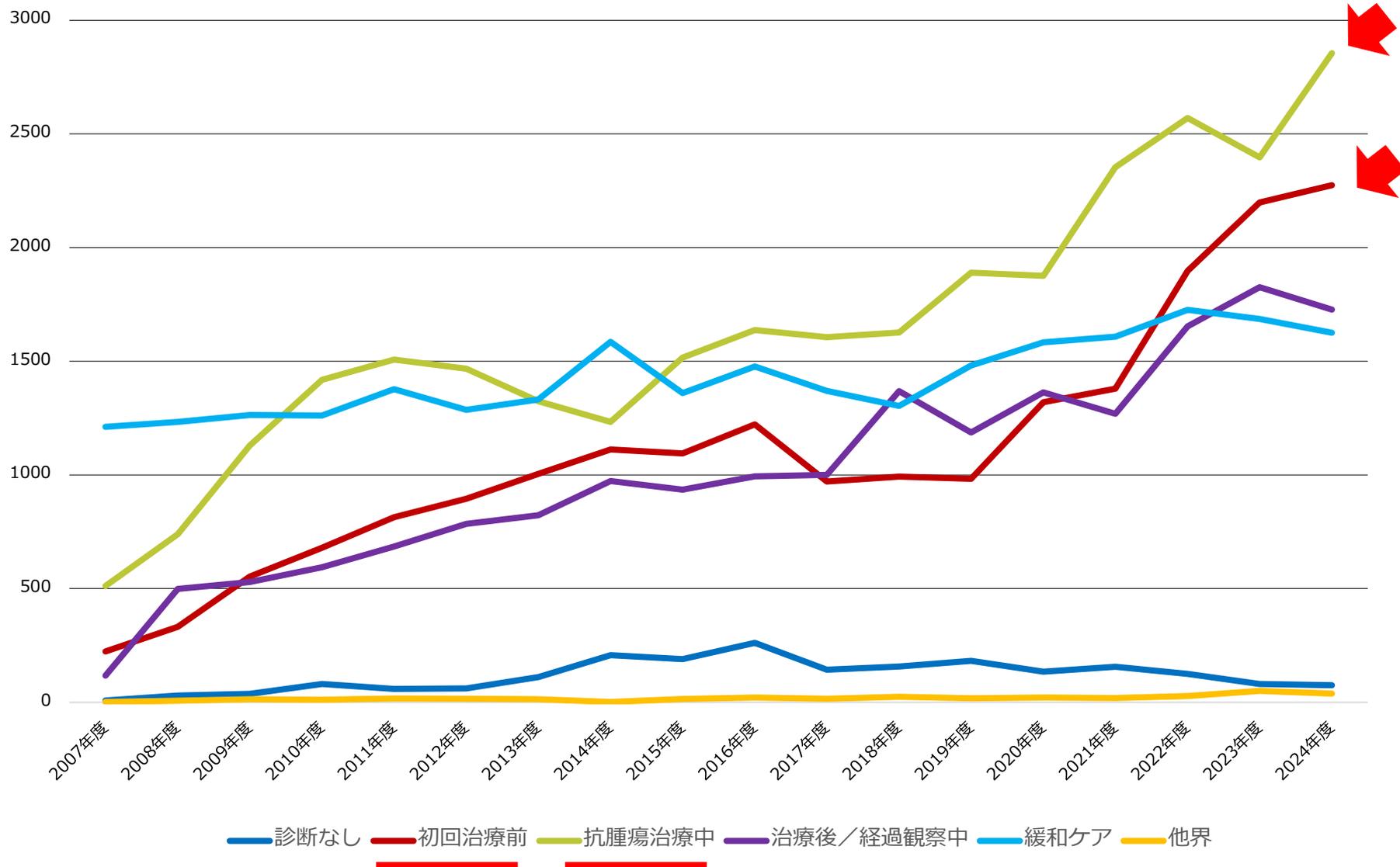
# 新規相談者 年次推移



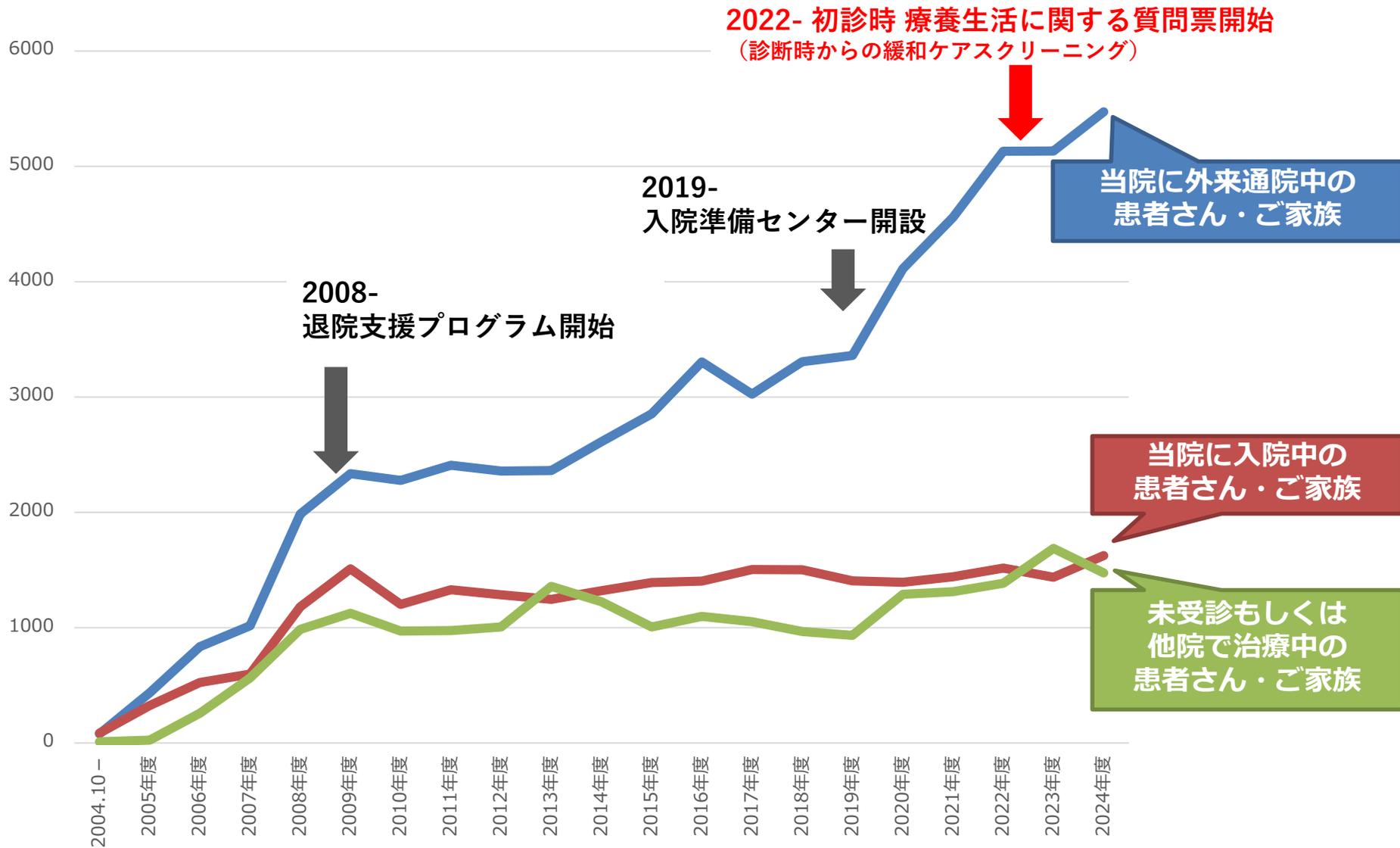
# 相談者の年齢 推移



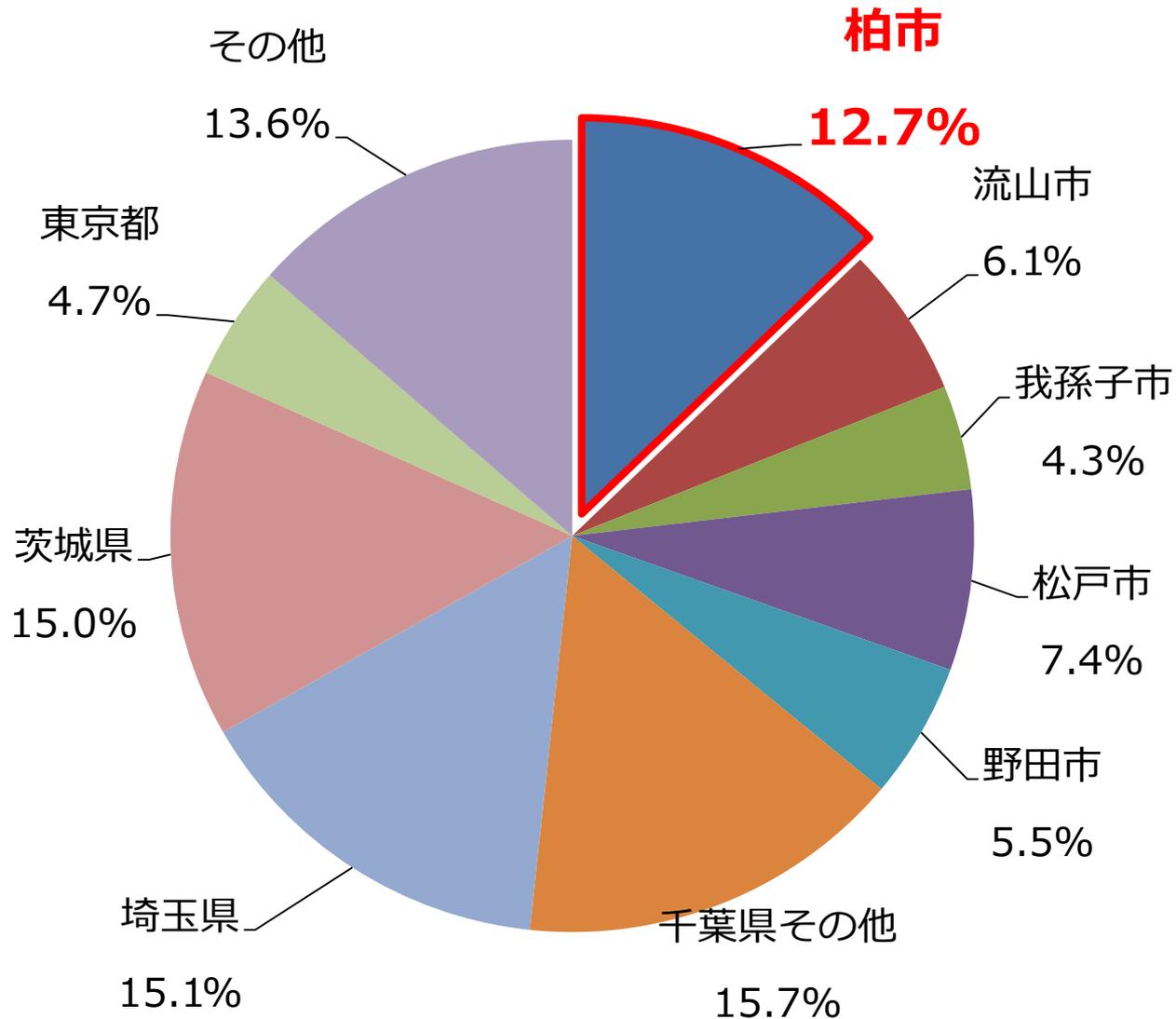
# 初回相談時の治療状況 推移



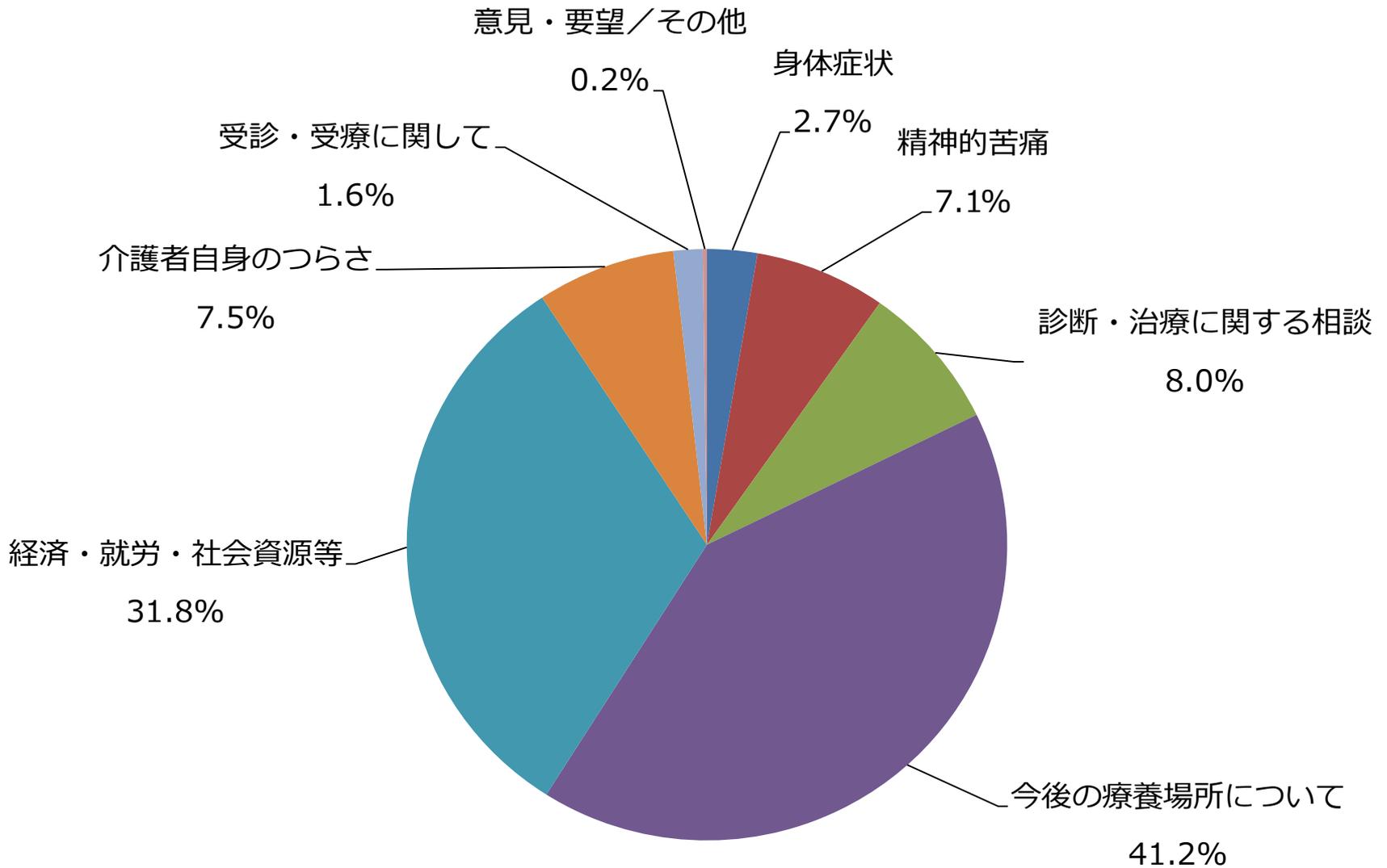
# 新規相談者 治療場所内訳



# 相談者 居住地



# 相談内容 内訳



# 療養生活に関する質問表運用と相談支援

・ 2022年10月より運用開始、2023年5月より全初診患者を対象として展開

## ▶実施項目

- 身体面：身体症状や医療処置
- 精神面：不安、抑うつ、認知機能
- 社会面：就労や治療費、独居、通院手段、介護など
- コミュニケーション：家族間の意見の相違、ピアサポートなど
- その他：情報支援

▶問題の整理、支援を必要とする事柄の同定、がん相談支援センターご案内

療養生活に関する質問表 (パート1)

1) 日々の生活に支障を感じるような症状、身体的な状態が気になりますか。

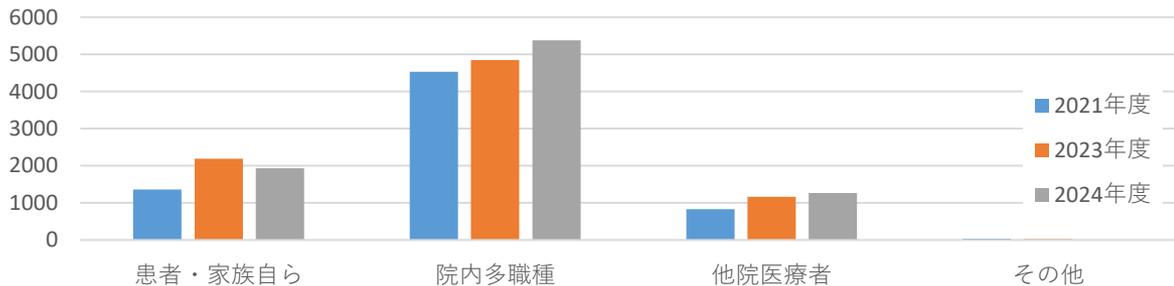
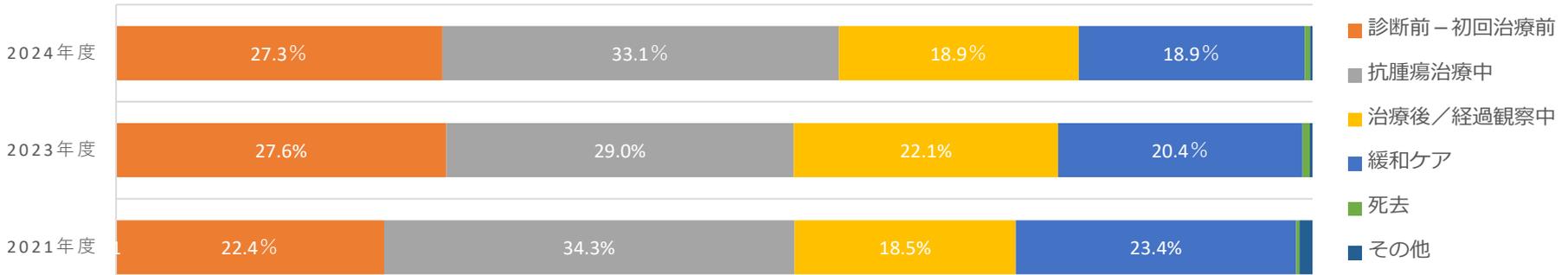
2) 精神的に、抑うつ、不安、認知機能の低下を感じますか。

3) 治療費、通院費、介護費など、経済的な負担が気になりますか。

4) 治療の副作用、一人暮らし、独居、通院手段、介護などについて気になりますか。

・ 相談支援センター利用者の治療状況の変化：より早期から相談へ

療養生活に関する質問表（初診時）導入前後の比較



「がん」になったらどうする?

がん治療、みんなの悩み

# 各種セミナー等の活動状況

地域や立場を超えた  
がんの療養生活に関する情報支援

体験者や地域とともにつくる

## ● サポートブケアセンターYouTube

- 【構成】2020年度に実施した患者さん向け調査結果でニーズの高いものを優先して作成
- 【公開】8職種で協働し作成し動画作成
- 【動画再生回数】30本 128,489回



## ● サポートブケアセンター公式facebook



## ● 民間企業との協働（社会保険労務士・資生堂株式会社ほか）

- ・社会保険労務士，ハローワーク松戸の出張相談
- ・資生堂株式会社共催 メイクアップアドバイスセミナー **24回開催 のべ525名参加**
- ・オープンキャンパスメイク体験ブース **当院医療者含め348名体験**



## ● がん患者さんのための総合支援セミナー

- 【構成】7職種による情報提供
- 【開催方法】WEB LIVE/アーカイブ配信あり
- 【開催実績】8月10日，3月22日/のべ1006名参加



診療に関する情報支援

## ● 地域医療連携のための情報交換会

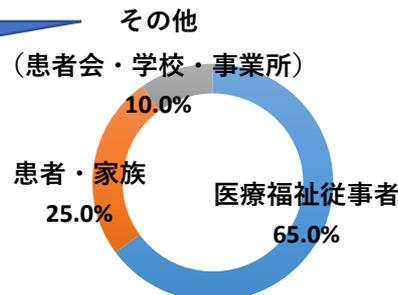
- 【対象】二次医療圏医療福祉従事者
- 【形式】集合形式
- 【開催実績】7月24日 223名参加



## ML登録者内訳

### ML登録者居住地

- \* 2021年度：23都道府県
- 2022年度：47都道府県1,241名
- 2023年度：47都道府県1,395名
- 2024年度：47都道府県1,634名**



# AYA世代の支援について

## ▶家庭と治療の両立

- 患者の親世帯は要介護であり、子供の養育先の確保に難渋
- 一時預かり（子ども家庭相談課など）に相談するも、子供の発達特性などを理由に継続利用が困難な事例
- 保育入所手続きは、空のある保育所探しを患者自身に託す市町村も
- 介護・医療・児童等、家庭と子どもの支援機関が連携し支援する必要があるが地域差が否めない

## ▶旅立った後の子どもの養育

- 未成年後見人（身上監護・財産管理など）の法的手続き、子どもへの告知やお別れの時間への配慮
- 親族里親制度の考慮など（短時間の意思決定が求められ、心的負担も大きい）

## ▶定例開催

- ・ 月1回：AYAカフェ開催
- ・ 年1回：CLIMB開催



## 国立がん研究センター東病院 CLIMB開催報告 —がん治療を受けている患者さんのお子さん向けサポートプログラム—

- ・ 開催期間：2024年8月20日～9月1日
- ・ 開催場所：国立がん研究センター東病院教育研修棟1階
- ・ 参加者数：3家族 4名のお子さん

グループに行ってもよかった  
スタッフは話しかけやすく、一緒に活動するのが楽しかった  
絵を描いたりものを作ったりするのは、自分のことや気持ちを話すのに役に立った  
自分の気持ちについて、他の人に話せてよかった  
他の子どもが、がんのことを話すのを見て「自分一人だけ（つらい）」という気持ちも…  
お母さん／お父さんの病気（がん）の特徴に治療について学ぶことが出来た  
このグループで知り合ったお友達に、また会いたいと思う  
グループは他の子どもにも役に立つと思う  
将来、他の集まりにも参加してみたい

感想



- このグループでやってみたかったことは
  - ・ かくれんぼ
  - ・ "かくれんぼ病院の中を見る（全部）"
  - ・ みんなでおいごっこ

- グループで一番よかった（楽しかった）のは
  - ・ にんぎょうをつくったこと
  - ・ 「お見舞いカード」作り
  - ・ "こうさくができたこと（ぜんぶ）まやパンにあえたこと"
- 自由に意見や感想を書いてください。
  - ・ たのしかった
  - ・ 楽しかった。また行きたい
  - ・ にんぎょうづくりがたのしかったよ。ともだちがふえてうれしかったよ！



AYA世代のみんなでお話ませんか？ /

# AYAカフェ

AYA世代患者さんのための語り合いの場

日時 5月23日 14:00～15:00 自由参加

場所 三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド 診療棟2階 柏の葉サロン

対象 当院にいらされているAYA世代患者さん

問い合わせ先: AYA看護外来 (担当看護師 PH5:92063)

### がん治療を受けている患者さんの 子供さん向け サポートグループ

【目的】 がん治療中のお母さん・お父さんの子供さんを対象にした、サポートグループを開催しています。

【参加対象】 がん治療中のお母さん・お父さんの子供さん

【開催日時】 8月16日(金) 14:00～15:00

【開催場所】 三井ガーデンホテル柏の葉パークサイド 診療棟2階 柏の葉サロン

【お問い合わせ先】 AYA看護外来 (担当看護師 PH5:92063)

# 2025年度の予定

## ● 現地開催再開予定

- ▶ 年2回：地域医療連携のための情報交換会
- ▶ 10月11日：オープンキャンパス現地開催



## ● 診療・相談支援関連

- ▶ リレーフォーライフ柏の葉での相談ブース展開
- ▶ AYA世代への教育支援・キャリア支援体制の模索

